

はじめてみませんか!?

# 水道水の備蓄

大規模な災害が起こった時に、最も必要なものは「水」です。上下水道局では、災害時に水を供給するため、給水拠点を整備しています。災害が起こると上下水道局では応急給水活動を行います。混乱が予想されるため、すぐにはすべての市民の皆様にお水を配りすることはできないかもしれません。

そのため、各ご家庭での水の備蓄をおすすめします。日頃から災害への備えとして、1人1日3リットルの飲料水を3日分程度、備蓄しておきましょう。ご協力、よろしくお願いします。

## 1 飲料水の備蓄方法

### 1 保存容器の用意

10リットル程度の新しいポリタンクを用意し、水道水で十分に洗浄します。

大きすぎると持ち運びや水の交換が大変です。

### 2 水道水のつめ方

容器に空気が残らないように、水道水を満杯にし、フタをしっかりと締めます。

コブは空気が入らないようにすることです。

### 3 水道水の保存方法と保存期間

直射日光が当たらず、風通しのよい場所に保存します。水道水の保存期間は3日間(常温)～7日間(冷蔵庫保存)です。

湯冷ましや浄水器を通した水には、消毒のための塩素が含まれていないので毎日入れ替えましょう。



### 4 保存した水道水の入れ替え

保存期間が過ぎたら新しい水道水に入れ替えてください。保存期間内にフタを開けたときは、新しい水道水に入れ替えましょう。

入れ替えた水は、洗濯や植木の水やりに使いましょう。

## 2 生活水の確保

災害発生時には、時間の経過とともに生活水の必要性も増してきます。そこで重宝するのが、お風呂の残り湯等です。トイレなどの雑用水に利用できるので、お風呂にはなるべく水を張っておきましょう。



小さいお子さまがいるご家庭は事故にお気を付けてください。

## 3 応急給水を受けるための準備

ご家庭での飲料水が不足した場合、給水車やお近くの給水拠点で給水を受けることができます。水を運ぶための給水リュック・給水袋・ポリタンクなどを用意しておくに便利です。



キャスターがあれば持ち運びに便利です。

### 非常持ち出し品チェック表〈参考〉

すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう(貴重品の管理にはくれぐれもご注意ください)。

食料品	水(1人1日3ℓ、3日分) 非常食		生活用品	万能ナイフ	
衣類	肌着 防寒着 毛布			懐中電灯(予備の乾電池) 携帯ラジオ ライター	
応急医療品	救急セット 常備薬		その他	レジャーシート フード付き雨カッパ 紙皿、紙コップ 軍手、タオル	
貴重品	現金、通帳、印鑑 保険証 免許証			粉ミルク 紙おむつ	